

◆八千代市都市マスタープラン全体構想(案)に寄せられたご意見と市の考え方(関係団体分)

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
1	4	八千代台まちづくり協議会	<p>序ー2 都市マスタープランの役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と都市の将来像について考え、都市づくりの方向性について合意形成が促進され、都市計画が円滑に決定される効果も期待できます。 <p>市民と考える方法は？</p>	<p>都市マスタープランの策定にあたり、本意見募集以外にも、市民アンケートや高校生アンケート、絵画募集を実施するとともに、学識経験者、関係団体代表者、市民、行政職員から構成される都市マスタープラン策定会議を組織しており、都市の将来像や都市づくりの方向性について考える機会を設けております。新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり不十分な面もあるかもしれませんが、今後も地域別説明会等を設け、市民の皆様と共に考える機会を設けてまいります。</p>	
2	5	八千代台まちづくり協議会	<p>序ー2 都市マスタープランの役割</p> <p>②個別具体の都市計画の実現について</p> <p>今後の地域地区の都市施設、市街化調整区域の在り方な等について、本計画を基本に具体化を図ります。</p> <p>スケジュールと予算は？</p>	<p>都市マスタープランは、市町村の都市計画に関する基本的な方針であるため、個別の事業の予算やスケジュールにつきましては、個別計画等で管理してまいります。</p>	
3	5	八千代台まちづくり協議会	<p>序ー2 都市マスタープランの役割</p> <p>③市民参加の促進について</p> <p>都市の将来像や都市づくりの方向性などを示すことで、市民のまちづくりへの理解と参加を促進します。</p> <p>どのように実施するかの具体的なイメージは？</p>	<p>市民のまちづくりへの関心を高める方法につきましては、今後検討を予定するまちづくり推進の方策に整理いたします。</p>	
4	5	八千代台まちづくり協議会	<p>序ー3 都市マスタープランの背景</p> <p>これまでの「八千代市都市マスタープラン（以下「都市マスタープラン」とします）」は、平成34年度（令和4年度）を目標年度として平成14年3月に策定し、上位計画である第4次総合計画（基本構想）との整合を図るため、平成26年3月に改定を行いました。</p> <p>これまでの都市マスの成果及び課題は、どのよう公表されるのでしょうか。</p>	<p>現行の都市マスタープランの成果及び課題につきましては、第2回八千代市都市マスタープラン策定会議における参考資料として、市ホームページに掲載しております。</p>	
5	5	八千代台まちづくり協議会	<p>序ー4 都市マスタープランの目標年次</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標年度は2042年度とします。 <p>20年間では見通しは難しいので、例えば5年毎の達成項目と予算のプランは？</p>	<p>都市マスタープランは、市町村の都市計画に関する基本的な方針であるため、個別の事業の予算や進捗につきましては、個別計画等で管理してまいります。</p> <p>なお、本計画の進行管理につきましては、今後検討するまちづくり推進の方策の中で進行管理の方策について整理いたします。</p>	

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
6	5	八千代台まちづくり協議会	<p>P5 第4章 地域別構想 市内を3地域に分け、地域ごとにまちづくりの方針を示します。</p> <p>なぜ3地区なのでしょう。前回の都市マスでは7地区でした。</p> <p>例えば、高津・緑が丘地域では、駅前とその他はかなり状況が異なって来ています。場合によっては、10地区ぐらいの地域別構想の方が作成し易いのではないのでしょうか。それとも、まだ、決め切れないから3地域なのでしょう。</p>	<p>地域別構想の地域区分につきましては、全体構想（案）を踏まえ、検討してまいります。</p>	
7	22	八千代台まちづくり協議会	<p>P22 市民アンケート・高校生アンケート アンケートの集計を課題としてまとめられているが、地域別の問題や意見が理解できる様に、アンケートのデータを資料として添付して欲しい。</p>	<p>市民・高校アンケートにおける地域別の課題や意見等につきましては、地域別構想の中で記載する予定です。</p>	
8	22,23,56	八千代市防犯組合連合会	<p>日ごろは、当連合会の活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。</p> <p>資料を拝見し、僭越ながら次のとおり提出いたします。よろしく願いたします。</p> <p>率直な感想は、まちづくりに対する防犯意識がかなり低下していることです。P.56で「⑤安心、快適に暮らせる地域コミュニティの再生」の4行ほどの文章内にて初めて防犯が出ているだけに大変驚きました。</p> <p>将来にわたり市を安定的に維持するためには、納税者の確保は必須であり、そのため一つには子育て世代を増加させる政策が重要と思われれます。子育て中の親にとり子どもを犯罪から守るといふ防犯対策は関心が高いのではないのでしょうか。</p> <p>また、現在課題となっている人口割合が大きい高齢者の犯罪被害はどのように捉えているのでしょうか。</p> <p>残念なことに、P.22~P.25のアンケート及び結果まとめに見られるように、アンケートそのものに防犯が入っていないのです。最近の自然災害や大規模地震の予想を考えると防災に力が入るのは理解できますが、日常的な暮らしにおいて身近な問題は犯罪から市民を守ることは言うまでもないと思います。そして、両方とも普段から市民一人一人に高い意識を持ってもらうことが実際に発生した際、より減災や犯罪被害を食い止めることに繋がるはずで。</p> <p>防犯に関しては、長期間にわたり警察や市役所とともに多くの市民がボランティアで関わってきたからこそ現在の低い刑法犯認知件数になり維持しています。今回のプランのような扱いによって、市民が関りを離れてしまうことを懸念いたします。</p> <p>定年年齢や国民年金制度の変化により、当会の後継者確保は以前に増して苦しい状況です。これまで以上に市民参加のまちづくりを投げかけるなど、一層のご支援をお願いしたいと存じます。</p>	<p>防犯につきましては、重要な課題であると認識はしておりますが、都市マスタープランは、市町村の都市計画に関する基本的な方針であるため、主に土地利用の観点から計画の策定を進めております。</p> <p>いただいたご意見は、防犯に係る施策を検討していく上で参考とさせていただきます。</p>	
9	23	八千代台まちづくり協議会	<p>P23 (2) アンケート調査結果によるまちづくりの方向性 「④今後の生活環境 まちの景観について 駅前の都市景観の改善を望んでいる。」</p> <p>改善の方法は？</p>	<p>P62「3-5-2 都市景観形成の方針 ①市街地景観の形成」において、「公共施設のデザインの工夫等による景観形成を図るとともに、地区計画制度の活用や屋外広告物表示・設置の適正化の推進により、良好な市街地景観の形成を図ります。」としています。</p>	

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
10	23	八千代台まちづくり協議会	<p>(2) アンケート調査結果によるまちづくりの方向性 「⑤まちづくりへの関わり方 ・アンケートや情報提供の間接的なものを望む ・どうしたらいいかわからない」</p> <p>市民の関心を高める方法は？</p>	市民のまちづくりへの関心を高める方法につきましては、今後検討を予定するまちづくり推進の方策に整理いたします。	
11	25	八千代台まちづくり協議会	<p>P25 (6) 官民連携によるまちづくりの進展 「都市再生特別措置法において、まちづくりに取り組む団体を支援する制度や、道路や公園等の公共空間を活用してにぎわいのあるまちづくりを実現する制度等、官民連携のまちづくりを推進する制度が新しく創設されています。地域の特性に応じたまちの賑わいや、都市の魅力向上等の面からも有効な官民連携によるまちづくりに取り組んでいきます。」</p> <p>官民連携の委員会を発足されるのでしょうか。 国や県や民間が主催する官民連携まちづくりの講座等に積極的に参加し、考え方や実施例を知ること八千代市の構想に役立つと思います。</p>	いただいたご意見は、まちづくり及び官民連携に係る施策を検討していく上で、参考とさせていただきます。	
12	26	八千代台まちづくり協議会	<p>P26 市街地整備の推進 「京成大和田駅北側地区では土地区画整理事業が計画されていますが、事業の実施が困難なため、土地所有者等と整備手法等を検討する必要があります。」</p> <p>大和田駅北側地区が特記されていますが、八千代台駅周辺の課題はまとまっていますか？</p>	<p>大和田駅北側地区につきましては、土地区画整理事業区域を都市計画決定していますが、事業の実施が困難であるため、特記しております。</p> <p>八千代台駅周辺地区につきましては、P26<八千代市の抱える都市問題>の中で、課題を記載しております。</p>	
13	27	八千代台まちづくり協議会	<p>P27 市内鉄道沿線の活性化 「京成本線沿線を中心とした大和田・八千代台・勝田台などの既成市街地は、まちの成熟とともに、老朽化した建物や空家が増加しています。また、更新が必要な社会インフラが多数存在し、駅周辺の求心力の低下が懸念されています。このため、地域住民や事業者等と連携して駅周辺における都市機能の再構築を踏まえたビジョンを検討し、地域資源を活かした取組を促進することによって地域のにぎわいを創出するなど、地域の活性化を推進する必要があります。」</p> <p>ビジョンをどのように検討するのでしょうか。</p>	京成本線沿線地域の活性化について、第5次総合計画前期基本計画のリーディングプロジェクトにおいて「地域の魅力づくり（京成本線沿線・UR3団地の活性化）」を掲げており、これに基づき、地域住民や事業者等と連携しながら検討してまいります。	
14	27	八千代台まちづくり協議会	<p>P27 歩きやすいまちづくりの推進 「・街路空間を車中心から人間中心の空間へと再構築し、居心地がよく歩きたくなるまちづくりを進めていくため、京成本線3駅を中心に、ウォークラブルな都市空間整備を検討する必要があります。」</p> <p>新しいコンセプトによるまちづくりでは、外部専門家の手法の採用や実例の調査を行い、市民や事業者を理解し協力体制を作っていくと進まないでしょう。</p>	いただいたご意見は、まちづくりに係る施策を検討していく上で、参考とさせていただきます。	

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
15	29	八千代台まちづくり協議会	<p>P29 公共施設等の老朽化等への対応</p> <p>「・現在、国、地方公共団体を問わず、道路や上下水道等を含む公共施設等の老朽化が大きな社会問題となっています。本市の公共施設等についても、1970年代の急激な人口増加に併せて集中的に整備してきた経緯から、公共施設等の老朽化等に対応し、計画的な維持管理が必須となっています。」</p> <p>マンションでは、管理費を積立てて5年や10年毎の大規模修理に備えています。公共施設も同様に、建設直後から、老朽化対策の費用を個別に積み立てておく確実に大規模修理ができます。</p>	<p>P50「(2)生活道路・区画道路等の整備方針」において、生活道路・区画道路等の維持管理について追記いたします。</p> <p>いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	○
16	29	八千代台まちづくり協議会	<p>P29 新技術を活用した持続可能なまちづくりの推進</p> <p>「・都市の抱える諸課題に対して、新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な「スマートシティ」について、全国で取り組みが始まっており、本市でも将来的に検討していくことが求められています。」</p> <p>新しいコンセプトに関しては、市民が理解し協賛できる様になるまで、広報活動や勉強会が必要です。</p>	<p>いただいたご意見は、都市マスタープランの策定を進める上で参考にさせていただくとともに、関係部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	
17	29	八千代台まちづくり協議会	<p>P29 〈公民連携・市民協働〉</p> <p>「■公民連携・市民協働の体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の活用の観点から公民連携への積極的な取り組みが必要となります。 ・市民アンケートによると、市民参加したいが“どうしたらいいかわからない”という市民が多かったことから、その参加を促すことが求められています。」 <p>まちづくり指針にその方法を記載する必要があります。</p> <p>八千代台まちづくり協議会は、八千代台自治会の地区長会議の中で、公共センター（旧八千代台自治会館があったビル）の跡地利用に関し、説明会とワークショップを実施しました。身近に感じることは発言できても、八千代台駅西側のビジョンをどうしたいかの話は、なかなかうまく進まなかった。</p> <p>基礎知識や現状をどう変えていくかの考え方を事前に伝える教宣活動の大切さを思い知りました。</p>	<p>都市マスタープランにおいても、市民のまちづくりへの関心を高める方法につきまして、今後検討を予定するまちづくり推進の方策に整理いたします。</p>	
18	30	八千代台まちづくり協議会	<p>P30 市街地の整備の推進</p> <p>「→京成大和田駅北側地区の整備手法等や西八千代南部地区の市街地環境の整備・保全を図るための施策の検討」</p> <p>八千代台駅周辺も入れてください。</p>	<p>八千代市の抱える都市問題への対応として、市内鉄道沿線の活性化を推進するため、京成本線駅周辺における都市機能の再構築を検討する内容に八千代台駅周辺は含まれています。</p> <p>また、P50、駅前広場等の整備方針の検討にも含まれています。</p>	

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
19	30	八千代市長寿会連合会	<p>八千代市内高齢者(65歳以上) 21,274人(2000年) ⇒ 50,315人(2021年) 20年間で237%増となっている。 <要望> 【1】 八千代市の抱える都市問題(P30参照) 高齢化、人口減少、空家増加等の社会情勢を踏まえた市街地整備とこれらの生活便利施設にアクセスできる「コンパクト・プラス・ネットワーク」の推進とありますが、以下を提案致します。 ◎グリーンスローモビリティ 環境への負荷が少なく狭い路地も通行可能。 高齢者の移動手助の確保に検討お願い致します。 ・茨城県取手市…住宅、団地における路地ネットワークにて運用 ・茨城県石岡市…市内団地と団地をつなぐ活用 ・酒々井町…「しすいふれ愛タクシー」 自宅～目的地へ、目的地～自宅 乗合タクシー片道300円(1人) 【2】 高齢者の買い物弱者(スーパー、量販店、CVS、小型店舗の閉店により) 八千代市内に推定11,000人と思われる。 これに対しては、昨年7月末より移動スーパーとくし丸運行開始。 八千代台地区、勝田台地区(京成ストア)、大和田地区(高津団地)を回っている。 本年3月21日よりカスミスーパーが市内39か所にて移動販売開始</p>	<p>いただいたご意見は、交通施策を検討していく上で、参考とさせていただきます。具体的な交通施策につきましては、今後策定予定の地域公共交通計画で検討いたします。</p>	
20	31	八千代台まちづくり協議会	<p>P31 (8) 公民連携・市民協働・公民連携・市民協働の体制整備 「→公民連携への積極的な取り組みを図るとともに、“参加したいがどうしたらいいかわからない”市民の参加の促進」 まちづくり指針にその方法を記載する必要があります。</p>	<p>都市マスタープランにおいても、市民のまちづくりへの関心を高める方法につきまして、今後検討を予定するまちづくり推進の方策に整理いたします。</p>	

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
21	33,37	八千代オイコス	<p>★まちづくりの目標で「共生と自立」で市民と行政が・・・と言う行がありますが、それは同じ方向を（解決のために）お互いが見据えていなければならないと思います。色々な物事をどう捕まえていくのかがコミュニティの必要要素となると考えています。市民活動などは市民が好きなことをやっているのですが行政が上手く助長させ、抑制するのではなく、街づくりに利用するぐらいの図太さがほしいくらいです。</p> <p>★目指すべき将来都市構造で地域振興・防災拠点 道の駅八千代については、多くの市民が来場し交流の場を形成しています。が何をやるにも「農業」と言う括りがあり、思うように交流の場としては中途半端になっているように感じられます。この括りを取り払うことが防災拠点としても交流の場としても必要と感じられます。道の駅などは指定者管理・農政課・新川の側道は公園都市等入り組んでいます。それを地域単位で括れないものか「印旛沼流域かわまちづくり計画」などで</p> <p>★河津さくら・村上緑地公園彼岸花など観光の切り口から考えると多くの人を呼べる物があるのに行政管轄の縛りになかなか進まないのが現状です。</p> <p>これから人口減少・少子高齢化が進んでくる中、税金を確保し市民生活の安定化を図るのはインプットしかないと思います。どう高めるか、そのために行政は何が出来るのか考えてほしいと思います。</p>	<p>市民と行政の連携等につきましては、今後検討を予定するまちづくり推進の方策に整理いたします。</p> <p>部署間の横断的取り組みによるまちづくりにつきましては、関係部署と情報を共有し取り組みを進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見は、まちづくりに係る施策を検討していく上で参考とさせていただきます。</p>	
22	36	八千代台まちづくり協議会	<p>P36 ◆既成市街地エリア</p> <p>既成市街地エリアは、市街地形成後、相当の期間が経過しているため、総合的な居住環境や都市機能などの質的向上が求められているエリアです。本エリアについては、鉄道駅周辺の再生と活性化を基本とした市街地づくりを進めるとともに、都市拠点の形成と、拠点を結ぶ交通ネットワークにより、コンパクトで利便性の高い良好な市街地の形成を図ります。</p> <p>公民連携の委員会を設けてはどうかでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見は、まちづくり及び官民連携に係る施策を検討していく上で、参考とさせていただきます。</p>	
23	37	八千代台まちづくり協議会	<p>P37 ◆都市拠点</p> <p>京成本線及び東葉高速線の鉄道駅7駅の周辺を都市拠点として位置づけ、地域の実情に応じ、交通結節点としての機能を強化するとともに、都市機能や居住機能の集積を図ります。</p> <p>現状に不満を持っていても、どうしていいのかわからない状況です。</p> <p>八千代台駅東口ロータリーの花壇の一部にバスから降りる人々に踏みつけられている箇所があります。</p> <p>観察していると、タクシー乗り場にタクシーが2台停車していると、バス降車場の所定の位置にバスを停車することが難しいことが原因の様です。京成バスと対策の検討を始めようとしています。</p> <p>八千代台駅西側は自家用車の駐車場所がない状態であり、八千代台駅両側の駅前ロータリーの整備が急がれます。</p>	<p>いただいたご意見は、京成本線各駅周辺における整備方針等を検討する際に参考とさせていただきます。</p>	

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
24	42	八千代市工場協議会	工業専用地域の周囲を市街化調整区域にするなど、事業者の事業許可等に支障をきたさない対応をお願いしたい。 (工業専用地域の周囲において、後から、事業に影響を及ぼすおそれのあるもの(福祉施設など)の開発は規制して欲しい)	工業専用地域の周囲を市街化調整区域とすることは、現在の建物の立地状況等から難しいものと考えますが、工業団地につきましては、P42(3)工業・流通業務地において、工業生産環境の維持・保全を図るための手法を検討するとともに、既存企業の活性化に取り組むこととしております。 いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	
25	45	八千代市PTA連絡協議会	八千代市の未来を担う子ども達により良い街を残すために緑多きこの街の自然と人との共生社会を継続していくことが大切であると考えますが、今後の人口減少に対する対応として、八千代市内でも繁華街である勝田台地区、八千代台地区大幅な再開発が必要であると考えます。 また、この両地区においては高齢化も進んでおり若い世代が魅力を感じる街づくりを再開発により進めていく必要があるのではないのでしょうか？	都市マスタープランは、市町村の都市計画に関する基本的な方針であり、これに基づき個々の都市計画等が具現化されることとなります。 ご意見につきましては、今後地域別構想を検討する際に参考とさせていただきます。	
26	50	八千代台まちづくり協議会	P50 (3) 駅前広場等の整備方針 「市内各駅前広場は、駅周辺の土地利用の高度化や都市機能の再構築等、地域の特性に応じた方針に合わせて、交通結節機能を高めるなど、誰もが利用しやすく、移動の自由度が高い快適な交通ネットワークの整備に努めます。このうち、八千代台駅、大和田駅北側、勝田台駅については、老朽化等による再整備を検討し、地域の個性に即した整備、民間事業者の誘導を行うため、周辺の様々な団体によるエアプラットフォーム*の形成を図ります。 *エアプラットフォーム：まちなか再生に向けたビジョン実現のために一体となって取り組む人材の集積の場」 期待しています。 スケジュールと予算とどのような成果をイメージしているのでしょうか。	都市マスタープランは、市町村の都市計画に関する基本的な方針であるため、スケジュールや予算等具体的な内容につきましては、今後の取り組みの中で検討してまいります。	
27	50	八千代台まちづくり協議会	P50 ②その他の道路 「河津桜に代表される新川千本桜が植樹され、サイクリングやウォーキングができる新川遊歩道や市の花バラが植栽された緑道など、居心地がよく歩きたくなるまちづくりを、市民や市民団体、民間事業者との協働により進めます。また、今後京成線3駅を中心に各駅の整備方針に合わせて、ウォークアブルな都市空間整備について検討します。その他の地域についても、歩行者・自転車利用者の安全確保を図るため、歩道を含む歩51行者や自転車が利用しやすい道路の整備を進めます。また、バリアフリーを考慮した道路改良、交通安全施設の整備を進めます。」 どのような組織と方法で検討するのでしょうか。	都市マスタープランは、市町村の都市計画に関する基本的な方針であるため、組織や方法等具体的な内容につきましては、今後の取り組みの中で検討してまいります。	

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
28	51	八千代市PTA 連絡協議会	<p>また、阿蘇米本地区においては交通のインフラが整っていないことで新しい住民がなかなか移住してこないことで、子ども達の数も減少し2022年度には4校の小中学校の合併ということになりました。小中一貫校という新しい取り組みに関しては新たな取り組みとしてよいと思いますが、子ども達の減少傾向はこのまま進んでしまうと感じます。</p> <p>そこで、交通のインフラを整備する一つの案としては、人件費などの固定費を極力かけず現代社会で取りざたされているDXやAIなどの技術を使った、『バスの自動運転』などの交通のインフラを導入していくということにより、阿蘇米本地区が住みやすい街として再生させる市の取り組みとして国内からの注目を集めることで移住希望者にアプローチし、子育て世代に対する支援をより強くすることで人口の減少を抑え、あわよくば増加するように子ども達に対する『日本の支援する街』として街のイメージを全国に発信するということができればと考えてみました。本来であれば、東葉高速鉄道を柏～東葉勝田台～四街道の千葉県で縦の繋がりができる地下鉄として展開しその際に阿蘇米本地区と島田台の地区などに新たな駅ができるとより良い交通のインフラになると思いますが、現実論としては、予算や時間などの面で難しいと思いましたが、この人口減少の中で進められる新たなインフラ機能として『バスの自動運転』を取り入れることが良いのではないかと考えました。</p>	<p>交通に関する方針につきましては、P51「3-2-2公共交通の方針」に記載しておりますが、具体的な交通施策につきましては、今後策定予定の地域公共交通計画で検討いたします。</p> <p>いただいたご意見は、交通に係る施策を検討していく上で、参考とさせていただきます。</p>	
29	52,53	八千代市自主 防災組織連絡 協議会	<p>「八千代市都市マスタープラン全体構想(案)」のP52～53に示されている都市防災ですが、確かにハード面では理想ではあります。しかし、近い将来発生すると言われている「南海トラフ地震」や「首都直下地震」では、八千代市も相当程度被害は覚悟しなければなりません。</p> <p>「災害に強い街作り」には、やはりソフト面として市民一人一人の防災組織の向上と定着が不可欠です。市民の防災意識の根幹をなすのは“いかなる災害にも自信と家族の声明を断じて守る”という覚悟です。その表れとして“避難所に行かなくて済む家庭内防災”つまり自助の拡大が重要です。</p> <p>防災士として今日まで309回の講演会を行ってまいりました。この15年間一貫してのテーマは「家庭内防災」です。そのテーマのもと災害時は、わが家が無事であれば“在宅避難”を呼びかけてまいりました。</p> <p>「華やかな未来都市・八千代市」の土台をなすのは“防災”です。市としても、市民への防災意識の向上につながるプランを打ち出してください。ハードとソフトの両輪で「災害に強い八千代市」になると思います。</p> <p>市民あってこそ八千代市です。市民の生命を守ってこそ行政です。その一点を見失わないでください。</p>	<p>都市マスタープランは、市町村の都市計画に関する基本的な方針であるため、主に土地利用の観点から計画の策定を進めております。</p> <p>いただいたご意見は、防災に係る施策を検討していく上で参考とさせていただきます。</p>	

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
30	56,57	八千代環境市民連絡会	<p>3-4-2 環境負荷の少ない都市づくりの方針から下記のご検討をお願いします。</p> <p>(1) 脱炭素社会を目指した都市づくりの方針</p> <p>生活の快適性を維持しながらカーボンゼロを目指すのは容易ではありません。すべての人が省エネだけでなく、再生可能エネルギーの創出にも加わることが求められています。そこで、再生可能エネルギーなどの活用に加えて、再生可能エネルギーの創出を加え、地域発電所の設置や営農型ソーラー発電の普及を図ってください。</p> <p>環境にやさしいまち・交通への転換</p> <p>交通は電気自動車の普及を図るために、電気自動車のカーシェア拠点、高速充電施設の普及などを行政指導で進めてください。</p>	<p>都市マスタープランは、市町村の都市計画に関する基本的な方針であるため、主に土地利用の観点から計画の策定を進めております。具体的内容につきましては、個別計画等の中で記載してまいります。</p>	
31	57	やちよ自然エネルギー市民協議会	<p>(2) 「脱炭素型建築物の普及促進」について</p> <p>「地球温暖化の進行」への対応と、脱炭素社会への転換は、中長期的な視点でまちづくりを行う都市計画においても、非常に重大な課題であり、様々な都市インフラの更新や維持管理を計画的に進める必要がある。特に公共建築物については、原則として全ての新築の公共建築物はZEBを前提とし、2030年以降には民間建築物も対象とする。さらに新築の建築物だけではなく、既築の建築物や住宅についても脱炭素化に向けたZEBやZEHへの更新が進むように、市民も参加し、官民協働で取り組む必要がある。</p> <p>(3) 「環境にやさしいまち・交通への転換」について</p> <p>公共交通機関の充実、脱炭素化と今後の超高齢化社会に向けて官民で計画的に進める必要がある。市内の主要な公共施設(役所、公民館、図書館、公園など)を結ぶコミュニティバス(電気バス)などを単独で拡充するだけでなく、他の公共交通機関(鉄道、民間バス路線など)とスマートに融合したスマートシティのひとつ手段としてインフラの整備を進める必要がある。人口の集中するエリア(主要駅周辺など)では、人間中心の「歩きやすい」まちづくりとして徒歩で様々なサービスを利用できるように整備し、周辺との自転車(電動を含む)や一人乗りの移動手段のシェアリングサービス(MaaS)や専用道などを整備する。脱炭素化に向けて電気自動車の普及が迅速に進むように支援制度やカーシェアリングを充実し、必要なインフラ(高速充電ステーション)なども整備する必要がある。</p>	<p>いただいたご意見は、脱炭素化に向けた取り組み及び交通施策を検討していく上で、参考とさせていただきます。</p>	
32	57	やちよ自然エネルギー市民協議会	<p>再生可能エネルギーの建築物義務化と促進エリア</p> <p>まずは建築物における再生可能エネルギー(特に太陽光と太陽熱)の導入検討を義務化し、原則として2030年以降は一定規模以上の新築の建築物については一定規模の再生可能エネルギーの導入を義務化する。既築の建築物については、脱炭素化を視野に再生可能エネルギーの促進エリア(ポジティブゾーニング)を定めて、再生可能エネルギーの導入の検討や支援の制度を促進し、市民と共に官民協働で普及を促進する。さらに、脱炭素化を先行的に進める先行エリアを人口集中エリア、住宅エリア、農村エリアなどにそれぞれ定めて、計画的に市内の全域に拡張する。</p>	<p>いただいたご意見は、建築物に関する脱炭素化に向けた取り組みを検討していく上で、参考とさせていただきます。</p>	

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
33	60～64	一般社団法人 八千代市観光協会	<p>この度、都市マスタープラン全体構想（案）を拝見させて頂きました。大変、大きな都市計画の構想であり、素晴らしい構想だと思います。</p> <p>八千代市観光協会と致しましては、本マスタープランの中に「観光」に関する視点を入れて頂きたいと考えております。</p> <p>令和3年度に「八千代市観光振興計画」が策定される予定と伺っております。観光は産業の分野に入りますが、将来的に成長する分野ではないかと考えています。</p> <p>観光産業の育成には、都市計画における観光インフラの整備や市民との協働による観光資源の掘り起こし等も重要な事と思います。</p> <p>何卒、宜しくお願い申し上げます。</p>	<p>観光につきましては、令和3年度に策定した「八千代市観光振興計画」等と連携を図り、P60「3-5 緑と景観の方針」において、新川周辺や道の駅やちよ等について、記載しております。</p> <p>都市マスタープランは、市町村の都市計画に関する基本的な方針であるため、主に土地利用の観点から計画の策定を進めております。観光に関するより具体的な内容につきましては、個別計画等の中で検討してまいります。</p>	
34	60～64	やちよ自然エネルギー市民協議会	<p>緑と景観の方針</p> <p>緑の基本計画(平成30年改訂)などにあるような「自然環境保全ゾーン」や「谷津・里山ゾーン」を保全する拠点をネットワークすることで、市民がこれらの自然を体験でき、自然環境の保全に積極的に参加できるようにする。新川を軸とした広域公園や都市公園、市民の森、「農業の郷」「少年自然の家」などの拠点を維持し、多くの市民が活用できるようにする。</p>	<p>緑と景観の方針図は「八千代市緑の基本計画（改定版）」の内容と整合を図りつつ作成をしておりますが、自然環境保全ゾーンを追加いたします。</p> <p>いただいたご意見は、公園緑地の整備に係る施策を検討していく上で参考とさせていただきます。</p>	○
35	61	八千代環境市民連絡会	<p>3-5-1 緑と水の方針（2）自然系緑地の保全・整備方針</p> <p>谷津・里山には保全地区指定などの法整備や補助金制度の導入など検討できませんか。</p> <p>市内の谷津・里山については、緑の基本計画及び八千代市第3次環境保全計画に基づき、市民、土地所有者、事業者、市が協働して保全・再生する事業を進めていますが、残念ながら耕作放棄地の増加と生物種、および生物総数の減少などが著しくなっています。主たる原因としては担い手である市民の高齢化による減少、農地の集約化や基盤改善による谷津田特有の湧水の減少や枯渇など、侵略的帰化生物の侵入などがあり、もっと多くの市民が関われるよう抜本的な見直しが必要です。</p> <p>農地 ア.郊外の農地</p> <p>耕作放棄地が増えています。これは思い切った政策転換が必要です。耕作放棄地の利活用を進める施策は下記のようなものが考えられます。</p> <p>① 小規模農業を魅力あるものにする</p> <p>安定した収入の確保をはかるために営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）の普及を図る。</p> <p>② 市民農園や学校農園などへの転換を容易にするための法整備など</p> <p>市内だから気軽に行くことができます。特に学校農園は子供たちが地域の特産物を知ったり、自ら育てた農産物を調理することにより、地域への愛着を育て、食育にも役立つと思います。</p>	<p>谷津・里山の保全につきましては、P60「3-5-1 緑と水の方針」などにも記載していますが、具体的には個別計画となる「八千代市第3次環境保全計画」に基づいた各種環境施策により、対応を図ることとしております。同様に耕作放棄地や市民農園等の農業施策につきましては「八千代市第2次農業振興計画」に基づいた各種農業施策により、対応を図ることとしております。</p> <p>いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
36	61,62	やちよ自然エネルギー市民協議会	農地の活用 自然系緑地(グリーンインフラ)としての担い手づくりを含めた農地の保全をし、耕作放棄地の活用や小規模農業(市民農園、学校農園への転用などを含む)の活性化を進める。その際、営農型太陽発電(ソーラーシェアリング)を農業のスマート化の核として、市内の農地(生産緑地を含む)で全面的に展開することで、地域の脱炭素化と農地の活用を確実に実施することができる。	いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	
37	全体	千葉県建築士会八千代支部	市として八千代市の人口はどうなってほしいのか。増えてほしいのか、減じていくことの方がいいのか。減じていくなればそれ程の税金を投入しなくて済む事でもあるが。 住みよい街にしていくのなら子供を持つ世帯が安心して住める、住みたい処を目指すのは交通の利便性が良く、安全で環境が良い街となる。 幹線道路、主要道路の渋滞緩和、歩道の整備。また景観的にも防災対応としても電柱の地中化を実現してほしい。短期で改善が望ましいが少しずつでも進めないといこの先50年100年先も同じである。 また、企業誘致の為、場所の提供や交通網の整備など働きやすい環境が大事。 新川の緑地公園とあるがそれに接して店舗なども建設できる用途地域と改正してもらいたい。サイクリングコースも千葉花見川サイクリングコースとアクセス良くつなげてほしい。サイクリングコース、遊歩道もあり、スポーツも出来、休憩のためのショップがあるといい街になるのではないか。	本計画においても、八千代市人口ビジョンにおける将来人口推計(本計画の目標年次の想定人口は約19万2千人と推計,全体構想案P8)を踏まえてまちづくりを進めてまいります。 道路整備につきましては、P47「3-2交通環境の方針」にも示すとおり、道路ネットワークや都市計画道路整備プログラムを踏まえ、計画的に整備を進めてまいります。 子育て世帯への支援や企業誘致等につきましては、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。 新川の緑地公園は市街化調整区域であるため、用途地域を指定する予定はございませんが、市民の憩いやスポーツ・レクリエーション活動の場としての、需要にこたえる施設整備を県に要請してまいります。	
38	全体	八千代環境市民連絡会	八千代市がまちづくりの目標として掲げる将来都市像「人がつながり、未来につなぐ、緑豊かな笑顔あふれるまち、やちよ」およびその基本理念「誇りと愛着」「共生と自立」「安心と安全」はとても素晴らしいと思います。ぜひ、そのようなまちづくりを目指していただきたいと願っています。 マスタープランは総合計画と多くの個別計画の整合性を図るのが目的であり、単独で掲げるものではないかもしれませんが、第一章現況と課題に見るように、現況は多くの課題を抱えており、時として個別計画から乖離していることも見られます。マスタープランを作成しながら個別計画の見直しを進めることも必要だと思えます。ぜひよろしく願います。 例えば、現在は耐震性不足と老朽化のため使用中止状態の八千代少年自然の家はまさに「人がつながり、未来につなぐ、緑豊かな、笑顔あふれるまち、やちよ」のまちづくりにぴったりの象徴的な存在になると思います。未来を担う子供たちが、八千代市の自然の中で集い寝食を共にすることで、育まれる地元への「誇りと愛着」、過疎の地域活性化拠点として、休日は市民に開放し「共生と自立」を育て、大規模災害の際は広域避難場所として「安心と安全」にも寄与できます。そんな可能性いっぱいの八千代市少年自然の家ですが、コロナ禍が明けて代替施設利用体験後に、経費が安いという理由で改修ではなく廃止にすることが決まっているそうです。ぜひともマスタープランができる2026年までには、廃止方針を見直し、農村部でのまちづくりの拠点として位置付けていただけることを願っています。	いただいたご意見は、都市マスタープランの策定を進める上で参考にさせていただくとともに、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。 なお、少年自然の家につきましては、代替施設による自然体験学習の継続実施の可能性のほか、公共施設全体の老朽化への対応等を踏まえ、廃止の方針を決定しており、都市マスタープランへの位置づけは難しいものと考えております。	

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
39	全体	やちよ自然エネルギー市民協議会	<p>(1) 全体的なコメント</p> <p>この全体構想(案)は、都市計画法に基づいて策定される基本的な方針であり、2042年度までの20年間という中長期的な都市の将来像を明確にして、その実現に向けての道筋を明らかにしようとしているが、市民のまちづくりへの参加の促進もうたわれていることがとても重要だと考える。</p> <p>八千代市が宣言している2050年までのゼロカーボンシティの実現については、持続可能な脱炭素社会の構築に向けて、エネルギー効率の高いまちづくり(まちの機能の集約など)、歩きやすい道路等の整備、エネルギー消費の少ない建築物の普及、電気自動車などの導入、環境負荷の少ない公共交通機関の利用促進などを進めるとしていることが評価できる。</p> <p>カーボンニュートラルの実現に重要な役割を果たす再生可能エネルギー等の活用についても言及されており、太陽光や太陽熱、廃棄物由来のバイオマスなどの都市の未利用エネルギーの導入進めるとともに、災害対応を想定した自立分散エネルギー供給システムの整備を進めるとしていることが評価できる。</p> <p>さらに、脱炭素型建築物の普及促進として、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)やZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)の普及に努めるとしていることも重要である。</p>	<p>いただいたご意見は、都市マスタープランの策定を進める上で参考にさせていただくとともに、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>	
40	その他	八千代台まちづくり協議会	<p>1. 「まちづくり」の指針の作成</p> <p>時間がかかるビジョンの検討及び具体化では、担当者の交代により方針や市役所内各部の協力が得られるのが困難な場合があると思われる。指針を作り、誰が担当しても方針が変わらず、市民とのコミュニケーションがとれ、市役所内の協力体制の維持ができるようにする必要がある。</p> <p>参考としては、千葉市の「市民自治によるまちづくり条例」がある。</p> <p>八千代市では、平成23年11月に制定された「八千代市地域コミュニティ推進計画」があった。</p>	<p>都市マスタープランは、20年後の2042年を目標とした中長期的な見通しを明らかにするものであるため、まちづくりの指針として長期にわたり機能するよう推進体制を整えてまいります。</p> <p>なお、推進体制につきましては、今後検討を予定するまちづくり推進の方策に整理いたします。</p>	
41	その他	八千代台まちづくり協議会	<p>2. 地域担当制</p> <p>職員が人事異動しても地域の「まちづくり」担当が変わらない体制とする。</p> <p>現状、担当者は、人事異動により、一定期間「まちづくり」にたずさわった後、他の課に移動してしまえば、関与できなくなる。市民からすると、今まで、熱心に話を聞いてくれても「いずれ担当から外れるんでしょう。」との感覚がどこかにあり、信頼関係の構築が難しい。習志野市の「地域担当制」では、長年にわたり、同じ地域を担当していると聞いています。</p>	<p>いただいたご意見は、八千代市第5次総合計画の実施計画に掲げている事業である「地域担当職員制度事業」を検討する上で参考とさせていただきます。</p>	
42	その他	八千代台まちづくり協議会	<p>3. スケジュールと予算の明記</p> <p>内容は、バラ色イメージで素晴らしいですが、「いつ実現するのですか」が課題です。</p> <p>20年間のプランですが、例えば5年毎にどこまで完成し、予算をいくらつけるとの情報があると[実現するんだ!]との思いが伝わってきます。</p>	<p>都市マスタープランは、市町村の都市計画に関する基本的な方針であるため、個別の事業の予算や進捗につきましては、個別計画等で管理してまいります。</p> <p>なお、本計画の進行管理につきましては、今後検討するまちづくり推進の方策の中で進行管理の方策について整理いたします。</p>	

No	該当ページ	団体名	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
43	その他	八千代台まちづくり協議会	4. 総合計画の基本構想の期間を8年間から無制限に変更すること 都市マスタープランは20年間なのに、上位の総合計画の方が短いのは変な感じがします。	都市マスタープランにつきましては、国の都市計画運用指針に基づき、「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（県が策定する都市計画区域マスタープラン）」に準じて、目標年次を20年後の2042年度としております。これは都市計画事業が計画から事業が完了するまで長期間にわたるものであり、長期的な視点が必要な計画であるためです。 一方、八千代市第5次総合計画の計画期間につきましては、社会経済情勢がこれまでより短期間で大きく変化する傾向があり、長期的な計画が立てづらい状況にあること、また、令和7年度を転換期として人口の減少が予想されていることを踏まえ、8年間としております。	
44	その他	八千代市PTA連絡協議会	また、子ども達の多様性と可能性を育てることにしても『日本一子育てのしやすい街』などの子育て世代に対するキラークーワードをコンセプトにすることで20代～40代の子育て世代が住みたい街として考えるのではないかと思います。そして高齢化とうたわれる現代社会においてバランスの良い年代層が集まる街づくりを構築することができるのではないかと考えます。	いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	
45	その他	八千代市PTA連絡協議会	そして最後になりますが八千代市として今後何をしていくべきか大きなテーマとしては、『高齢化社会に向けた街づくり』ではなく『子育て世代と高齢者により発展する街づくり』をコンセプトに八千代市都市計画を進めていただきたいと思います。 これからの街づくりは人口の減少問題・環境問題・産業の発展に関してなど次世代を担う子ども達に関わる大きな問題や、課題があると思います。その子ども達により良い地域社会を残していくために今我々がやれることを産学官民が連携して街づくりを推進していく必要があると考えます。	いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	